



おしえて!

感染症 さがみはら

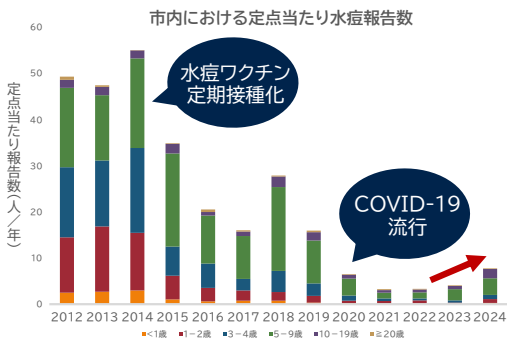
2025年2月

今月の注目疾患：水痘（水ぼうそう）& 帯状疱疹

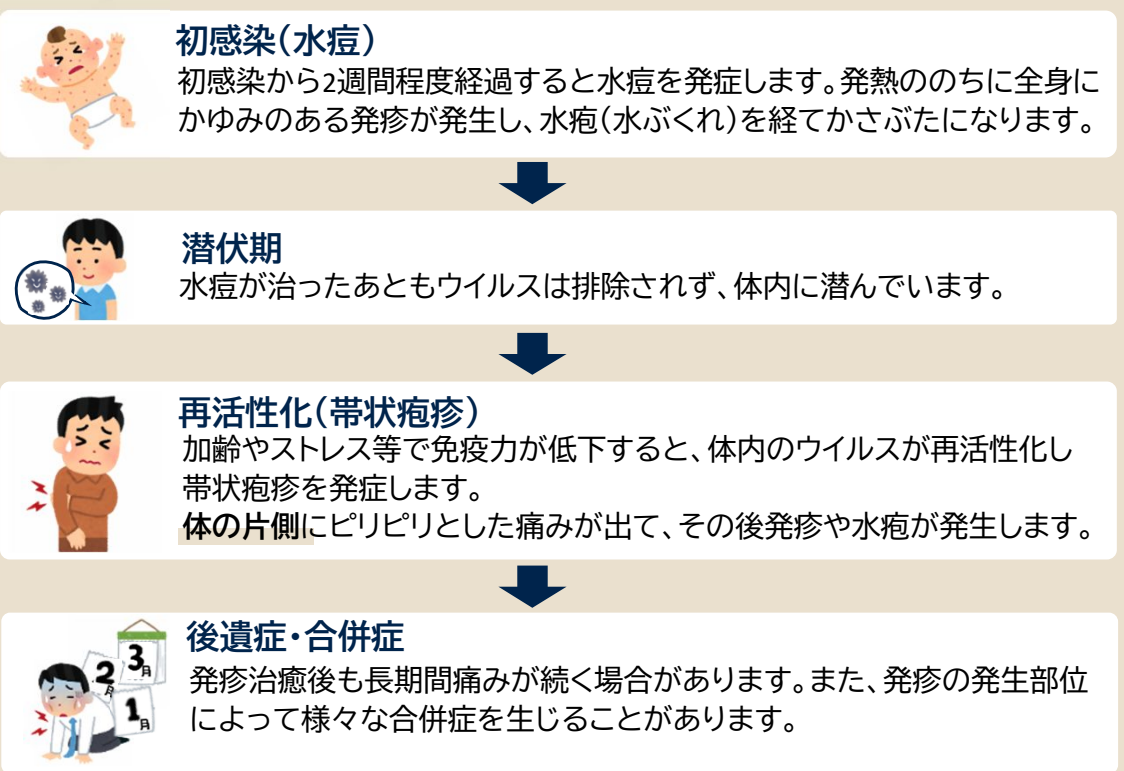
原因は同じウイルス

水痘（水ぼうそう）と帯状疱疹は同じウイルスを原因とする病気です。ウイルス初感染時に水痘を、免疫力の低下によって潜伏していたウイルスが再活性化すると帯状疱疹を発症します。

ワクチン定期接種やコロナ流行に伴う感染対策の影響で水痘の患者は大きく減少していましたが、近年増加傾向にあり、今後の動向に注意が必要です。

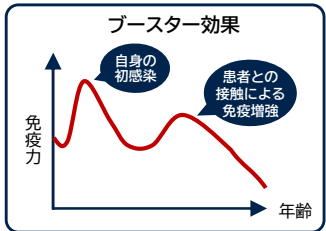


経過



帯状疱疹の発症者は増加傾向

水痘患者の減少により、ウイルス暴露による追加免疫（ブースター効果）の機会が減少したことから、帯状疱疹患者数は増加すると推測されています。



予防するには

- ・ワクチン接種
水痘：1歳から3歳未満で2回定期接種
帯状疱疹：任意接種

- ・基本的な感染対策
接触・飛沫感染が主な感染経路です。手指消毒や手洗いである程度予防できます。

～妊婦と水痘～

妊娠中に初感染すると胎児にウイルスが移行

流産
先天性奇形
新生児帯状疱疹等の可能性

妊娠中に水痘ワクチンの接種はできません！
妊娠を希望される方で、水痘感染歴・ワクチン接種歴がない方は医師にご相談ください。

発症してしまったら

- 水痘**
- 発症中は登校・登園停止
すべての水疱がかさぶたになるまでは出席停止となります。
 - 水疱はかかない・つぶさない
傷口から菌が入り、痕になってしまう可能性があります。

- 帯状疱疹**
- 早期に受診・治療を
治療が遅れると後遺症や合併症のリスクが高くなります。
 - 再発症することも
一度発症するとウイルスに対する免疫が強くなりますが、免疫が低下すると再発症することがあります。

■ 発疹・水疱がなくなるまでは注意
水痘・帯状疱疹ともに発症中は感染力があります。ワクチン未接種・未感染の人との接触は避けましょう。